

TORRIDE

此石

五城目消防広報誌

Vol.2

- ◆災害に備える
消防士の"訓練"
- ◆地域と共に。
消防団紹介

【特集】はたらく車
消防車・救急車紹介

【特集】はたらく車 消防車・救急車紹介



《水槽付きポンプ車》

【通称：五城目タンク1】
1500 Lの水を積載し、火災の最前線で戦う車。火災のみならず、救助資器材も積載し、交通事故や各種救助事案でも活躍します！緊急消防援助隊として台風19号の際に宮城県へ出動しました。



《水槽付きポンプ車》

【通称：五城目タンク2】
600 Lの水を積載し、小回りの利く消防車。五城目タンク1とのコンビネーションで火災現場で活躍します！



《高規格救急車》

【通称：五城目救急2】
救急救命士が乗車し、適切な処置を施し、心身ともに患者さんに寄り添いながら、病院へ搬送します。24時間、命を繋ぐ車です！



五城目町消防本部の訓練紹介

GOJOME FIRE DEPT. FIRE RESCUE EMS



～水難救助訓練～

8月25日、26日の2日間、小倉町内の小倉堤にて、水難救助訓練を実施しました。

近年自然災害が増加する中、この訓練では船外機付き救助用ゴムボートと小型無人機ドローンを使用し、孤立した住民や水難救助者を救助するために必要な操船技術と救助技術の向上を目的として実施しました。



～南秋地区 救急救命技術訓練会～

9月24日、湖東地区消防本部にて「令和2年度南秋地区救急救命技術訓練会」が開催され、五城目町消防本部から4名の救急隊員が参加しました。

訓練会では、新たに救急救命士の資格を取得した職員が救命士として現場運用を開始するにあたり、救急活動現場で迅速・的確に救命処置を実施できる能力の向上を目的として行われました。





今村 宏

五城目町消防団 第1分団長

自己紹介

スーパーカブに乗り仲間たちとツーリングに行くのが趣味です。走行中は互いのコミュニケーションは取りにくいですが、だからこそ、ジュスチャーや合図を決めて目的地へ到着すると物凄い達成感を得ることができます。

良い出会い

当時の分団長からのお声掛けから、私の消防人生が始まりました。入団当初は、当然のことながら現場活動というものが分からず、日々苦勞したことを思い出します。現在は分団長という立場になり団員の安全を管理しつつ、現場に指示を出していると、ふと月日の流れを感じます。しかし、消防ポンプの定期試運転や各種イベント時に、仲間たちと何でもない身の上話をすることは昔から変わることのない楽しみであり、その繋がりを持てることに感謝しています。

今を一生懸命生きる

建設業、消防団と決して安全とは言えない仕事をしているので、子どもや孫には「死んだときが俺の寿命だ」と笑いながら話しています。

今この一瞬一瞬の物事に全力で取り組み、全力で遊び、そして疲れたら、ゆっくり休む。それが、私の大切にしている考えである「今を一生懸命生きる」ということです。

五城目町消防団は皆さんの「地域を守る力」を必要としています。

自分が住む町の安全・安心を守る消防団で、誇りを持って活動してみませんか？

～編集後記～

この場をお借りして、消防広報紙の編集委員を紹介させていただきます。ホームページ及び文章は小野航大、企画及び構成は福嶋良磨、写真及びデザインは中道聖也、消防団広報記事は近藤哲矢、校正は青木佑が担当しております。0からのスタートで知識も技術もない5人ですが、町民の皆様と消防を繋ぐコミュニケーションの場を一生懸命作らせていただきます。